

## 編 集 後 記

\*本学は開学して3年たち、紀要も第3号の発刊となった。短大創生期の諸問題に対処しながらも着実に研究を続け、論文を投稿いただいた方々に敬意と感謝の意を表したい。今回から両学科の卒業研究のタイトルを掲載することになった。内容を掲載する紙数がないのが惜しい。(齋藤)

\*水ぬるむ 岸に芽を吹く ねこやなぎ  
春待つ人の ころにも似て

秋田の冬は厳しく、それだけ春が待たれます。「紀要」の編集を通して、研究者のたゆまざる研究の姿勢と、形にすることへの努力を学びました。(佐藤)

\*紀要編集作業は、私にとって初めての経験でした。手探りの状態から始まり、委員のご指導を受けながら、紀要発刊にかかわる役割を果たせ、また、これを通して編集作業を具体的に体得することができました。このような機会があたえられたことに、心から感謝いたしております。(千葉)

\*こんな小冊子でも、多数の人たちの手を煩わせずには完成しない。面倒な手続きと合意も欠かせぬ。『紀要』は互いの努力と協力 (cooperation) の果実なのだが、さて、協力に相乗効果を約束する協働 (collaboration) の実をあげえたかとなれば、答えは、さほど簡単ではない。(馬雄)

編集委員会構成員 (五十音順)

齋藤 和樹

佐藤サツ子

千葉 静江 (事務局)

矢口 雄三 (委員長)

日本赤十字秋田短期大学 紀要 第3号

平成11年3月31日発行

編集・発行 日本赤十字秋田短期大学

紀要編集委員会

〒010-1406 秋田市上北手猿田字苗代沢17-3

TEL 018-829-3000・Fax 018-829-3030

E-mail info@venus.rcakita-jc.ac.jp

印刷 武内印刷株式会社

〒010-0933 秋田市川元松丘町4番59号

TEL 018-862-8754・Fax 018-863-1066